

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路台帳補正事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する道路	意図	宅地開発行為及び土地区画整理事業等により整備された道路について、路線認定又は廃止される市道の属性等を道路法に基づき台帳を整備して管理する。
事業内容	新たに市道認定又は廃止した道路及び拡幅改良事業により整備された道路の告示を経たもの及び官民境界が確定した市道についてその属性（延長、幅員等）を記録した道路台帳を補正して管理する。（道路法第28条の規定に基づく事業）			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和61年度に市道の見直しを行い道路台帳の再編を行った。 ・台帳を電算化したことにより毎年行う補正処理及び、国、県からの各種照会（道路現況調査等）について迅速な対応が図られる。 ・土地区画整理事業の進捗に伴い、市に移管される道路の延長が増加しているため対象事業量及び事業費が増加している。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		市道認定・廃止・拡幅改良延長	12.52	14.32	15.80	km	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						算定式（成果指標の場合）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	・道路境界の確定により随時作成する道路区域線図（境界位置を示す図面）を受託業者へ提供するまでの間は、図面番号を職員が台帳に記入し表示している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	26,694,000	28,103,700	41,781,500				
事業費(b)(円)	15,940,800	18,133,200	32,313,600				
うち一般財源	15,940,800	18,133,200	32,313,600				
職員給与費(c)(円)	10,753,200	9,970,500	9,467,900				
人役・職員(人)	1.50	1.40	1.40				
人役・再任用(人)		0.10	0.10				
人役・臨職(人)	0.30	0.30					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	道路台帳の修正業務の効率を改善するため道路台帳図の電子データ化を図る。道路台帳を電子化することにより、台帳の補正に要する時間短縮が図れる。	取組における課題(Check)	市道の認定及び廃止について市議会に議案を提案し、年度末に一括で道路台帳の補正を行っている。議案の可決後、速やかな道路台帳の補正を行うよう対応について検討する。
H30に実施した取組(Do)	マイラーの台帳図原図の約1/3を電子データ化した。	課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	年2回（6月、12月）の市議会に市道認定及び廃止の議案を提案する予定であり、議決都度の補正作業を受託者と協議する。